

野田物語

棋士・中村勇太郎⑦

囲碁と将棋の

発展を願って

中村勇太郎九段に関して、ご本人のインタビュー記事やお弟子さんの茅野直彦九段のお話などを基に、これまで棋士としての顔をご紹介してきましたが、最終回の今回は、中村九段のご長女・矢島廣子さんにお話を伺いました。

「私が小学生の時の記憶なので、昭和10年代のことですが、父は休みになると、よくひとりで江戸川へ釣りに行ってましたね。母が作ったお弁当を私が届けるのが役目でした。父が釣ったフナが甘露煮になって食卓に並んでいたことを覚えています」

「家にいる時も父は、もの



自宅で練習用に使っていた碁石と碁盤
／矢島廣子さん所蔵



結婚祝に棋士仲間から贈られた火鉢(昭和8年)／中村和子さん所蔵

自宅での囲碁教室の開設を目前にされながらも昭和58年12月15日、残念ながら病気のため、永眠されました。75歳でした。

※文中敬称略(中村勇太郎の章・終わり)
【取材協力】矢島廣子さん、中村和子さん、(財)日本棋院出版部

静かで、私も兄妹たちも父から怒られたという記憶はありません。どなたかということもありませんでした。(対局で)勝って帰って来た時も、うれしそうに一言、「勝ったよ」というのみでした。しかし、機嫌が悪いつきは、1週間でもずっと黙り込んでしまう性格でしたね」と矢島さんは話します。

また、「棋院での師範を長く続けた父は、晩年、家を改築して、今度は子どもと女性を対象にした囲碁教室を開きたい、と話していました。しかし、残念ながらこの夢はかないませんでした」とも。

昭和56年5月20日、野田市



晩年の中村九段／矢島廣子さん所蔵

有線放送農業協同組合の座談会に、ゲスト出演された中村九段は、囲碁との出会いや対局のこと、囲碁・将棋の歴史、関根名人のことなどを語ります。

番組の最後にインタビューに「今後の展望」を尋ねられて、「野田は静かで、環境のよいところ。これはどこにもない特色じゃないかと思うのです。また、野田の碁と将棋は、(それぞれ)伝統的な歴史があると思うのです。これからは、野田として盛んになればよいと願っております」と結んでいました。

自宅での囲碁教室の開設を

6月の休日当番医

休日当番医での診療時間

外科・産婦人科=9時~22時(ただし16時~19時は除く)

内科=9時~16時(19時~22時は急病センターで行います)

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
7日(日)	須藤整形外科(☎7122-1221)	青木クリニック(☎7198-7864)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)
14日(日)	キッコーマン総合病院(☎7123-5911)	大槻医院(☎7127-3424)	杉崎クリニック(☎7125-1070)
21日(日)	梅郷整形外科クリニック(☎7125-2011)	はたのこどもクリニック(☎7123-7121)	川間太田産婦人科医院(☎7127-1135)
28日(日)	門倉医院(☎7124-5311)	野田病院(☎7127-3200)	小張総合病院(☎7124-6666)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド(☎7124-7272:コード6101)、または野田市ホームページ(<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>)で確認をしてください。

急病センター

☎7125-1188

▼内科(小児科)=19時~22時(毎日)

▼歯科診療=9時~12時(休日)

▼先日、携帯電話をよく使用するという聴覚に障害のある方が、テレビに出演されてました▼簡単に文字で連絡を取り合えるメールや、調べ物ができるインターネット機能ががあるので、今や生活に欠かせないそうです▼今年3月の国の調査によると、2人以上の世帯での普及率は、90パーセントを超えています▼市では、生活に定着している携帯電話をより活用するため、6月1日から、防犯・防犯情報などをお知らせする「まめメール」で、携帯版ホームページをスタートしました。(を)活用ください

編集後記

市の木



けやき

市の花



つつじ

市の鳥



ひばり